

保護者等からの事業所評価の集計結果(公評)

公評:平成31年 3月29日 保護者数(児童数)40 回収35 回収率87.5%

事業所名 名古屋市西部地域療育センター

		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	26	8	1		ア. 人数が多いとクラスがせまい。 イ. ホールや園庭など狭くはないと思うが、健常児と比べて活発な子や動きまわらな子が多かったり、肢体不自由の子も一緒に活動すると考えると手狭なのではないかと思えます。 ウ. クラスのスペースは良いですが、ホールが狭いと感じます。ぶつかりそうになることがあるので。	物理的に拡張は困難ですので、けがを防止するため角に保護材を巻くなど、子どもの安全確保には職員一同、一層気をつけてまいります。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	28	6	1	1	ア. 障害の度合いが重い子たちから先生をとられてしまうので、残った軽い子たちなのか、目を離しても大丈夫な子なのかは分かりませんが、泣いている子もいましたし、何かを口に入れそうになったのを止めたこともありました。放置されていた子もいたので、少し心配です。 イ. もう少し保育士さんがいてもいいと思う。	ご指摘のようなことが起こらないよう、全体に目を配るよう心がけてまいります。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	26	7		2	教室から園庭へ出るところが、バリアフリーにしてもらえると、歩行が不安定な子でも安心できると思います。	教室から園庭へ出るところ(窓部分の段差、さら板部分)のバリアフリー化については構造上の問題があり、現状では解決策がありませんが検討をまいります。教室への出入りには一層の注意を払ってまいります。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	28	5	1		ア. 消毒、手洗い、完璧ですばらしいです。 イ. 冬は素足で冷たいのを我慢しているのがわかるので、床暖が理想的。 ウ. ホールやクラスに空気清浄機、加湿器、ジアイーノなどを置いてほしい。 エ. 窓ぎわのほこり等が気になります。 オ. 施設的に古い割には清潔にしているとあります。しかし、今の状況に施設が合っているかは分かりません。	床暖房の導入については施設の大規模な改修を伴い現状においては困難ですが、窓際のほこりについては清掃を行います。
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	30	4	1		ア. どこまでも不安はつきまといますが、客観的な意見が一番参考になるので、計画内容に添える成長を期待しています。	今後も支援計画の充実に努めてまいります。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	25	5	1	4		家族支援や地域支援のフォローは、日々の連絡帳や保護者懇談会、学習会の他、相談支援専門員が行ってまいります。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	28	6	1		ア. 合ってなさそうな子も見られません。	計画に沿った支援を行うよう努力してまいります。
	⑧ 日々の活動が目的を持って行われており、子どもの障害特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせられ、固定化しないよう工夫されているか。	27	6	1		ア. 応用がなかなか通りにくい子たちなので、内容を大幅に変えるのではなく少し違う同様の課題にするだけでも効果はあるように思います。 イ. もっと発達をうながすような取り組みをしてほしい。(リハビリのような) ウ. 夏期間は毎日「水あそび」に固定化されているので、お絵かきや知育あそびなど指先を使った訓練をしてほしい。	繰り返し実施することで身に付く能力もあるため、同じプログラムを続けることも多いですが、子どもを飽きさせないような工夫や効果的な取り組みを行ってまいりたいと存じます。
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	30	6			ア. もっとあつても良かったかも。(年長クラスで) イ. もう少し回数が増えると嬉しいです。 ウ. もっと交流を増やして欲しいです。	交流先の保育園等の場所、交流先のスケジュール事情を考慮して、引き続き交流が楽しいものになるよう工夫を重ねてまいります。

保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25	6	1	1	ア. 助かっています。	契約締結時の重要事項説明を丁寧にを行うよう注意してまいります。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	27	2		5		懇談会等の場面で丁寧に説明してまいります。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	24	6	2	1	ア. 学習会のことでしょか?学習会のことであれば「はい」に○だと思いますが、もっといろいろ学びたいので、数が多くても良いと思います。	学習会も家族支援プログラムの一環です。学習会の回数は参加者に無理のない範囲で調整してまいります。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	33		1		ア. 一般的な園・家庭よりも、過保護、過干渉だと思います。こういう子供たちの対応ではありがたいです。 イ. 職員さんがよく見ていて下さり、時間があれば話す機会を設けてもらえてありがたいです。	今後も共通理解に努めてまいります。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	28	4	1			担任と保護者による個人懇談会を年に3回行っています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	28	5		1		保護者会の開催場所の提供や資料準備をお手伝いしています。また、クラス懇談会の開催など、保護者同士のつながりをサポートしています。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	26	6	1	2		苦情や相談の体制を整備し契約時にお示している他、日常の相談や要望は担任や他の職員もお伺いしております。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	8		1		日々の連絡帳や毎月のキラダよりにより、意思疎通や情報の伝達に努めております。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	27	3		3		月に1回の会報(キラダより)にて、行事予定等を発信しています。
非常時等の対応	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	30	1		4		「西部地域療育センターにおける情報の保護及び管理の方法に関する定め」を策定し、日頃から個人情報の取扱いに注意を払っております。
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	27	5	1	2		毎年、「警報・震災等が発生した場合のセンターの対応について」を作成し全員に配布しております。また、訓練も所内で実施しております。
満足度	㉑	子どもは通所を楽しみにしているか	34	1			ア. 気になる友だちができてから。	
	㉒	センターの支援に満足しているか	31	4			ア. 食べられないものも食べられるようになったので、嬉しいです。 イ. バス通園者の選出方法に疑問がある。車という手段がある人でもバスに乗車できるのに、車という手段がない人は乗車できず、天候によっては登園できずにいる。毎年同じ人が登園できず泣かなくてはならない。	皆さんにご満足いただけるよう職員一同努力してまいります。バスの件はご意見を伺いながら改善してまいりたいと存じます。今年度は途中でバス通園ができる児童を増やすようにルート変更をいたしました。